

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	沖縄市こども発達支援センター	公表日： 令和7年4月18日
------	----------------	----------------

利用児童数： 57名

回収数

21/57

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21				・好きな遊びをする場では、体を動かすコーナー、おもまごなどの静かに遊ぶコーナーの、両方が用意されており、こども一人一人にあった活動ができる。その他にも、設定療育を行う場が別に確保されており、場面の切り替えが可視的になっている。 ・家は狭いので走り回れる広いスペースがあって助かります	・引き続き、子ども一人ひとりが好きな遊びが楽しめる環境づくりに努めていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1	1		・時々足りないかな～って感じることもあります。 ・可能であれば、職員数を増やして、受け皿を拡大してほしい。	・国の定める配置基準や子どもの特性等に合わせて適切に職員配置を遵守していきたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	3			・自由遊びの部屋では、すでに遊具等が設置されており、遊びを選択できることがわかるようになっている。設定療育の部屋では、活動に集中できるよう、余計な掲示等もされていない点が良いと思う。 ・車椅子の利用者がいた場合、トイレはスペース、段差の問題で少し使いにくいかもしれません。	・車椅子利用者に応じて、エレベーターの活用や動線に合わせた発達支援室利用の配慮するとともに、トイレの段差については、必要に応じて斜板を組み込む等して対応していきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21				・各部屋に空調が個別に設置されており、外の天気や気温に左右されず、活動に集中できる。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21				・先生たちの声掛けや、子供に対する姿勢や駆け引きなどは1人で思いつくものではないので、本当参考になるし、心の支えです。 ・一人一人の特性に合った担任が選出されていると感じた。合同で療育を行う場合も、事前に担任同士で情報交換がされており、こどもの特性がお互いに悪い方向にぶつからないよう配慮されているのが伝わった。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1			・事業所の取り組みは公表されていると思うが、保護者にわかりやすく、受け入れやすく、という面では、改善の余地があるかもしれない。	沖縄市のHPや施設内掲示板等、利用者にとって見やすい場所へ掲示していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21				・計画の策定はとても綿密に行われていると感じた。逆に、担任保育士の負担になっていないかが心配になった。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21				・アセスメントで上がった項目の中から、個別療育で対応できるかどうか、期間や回数内で達成できるかどうか、困りごとに対する優先順位など、支援内容の絞り込みが丁寧だと感じた。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1			・活動中や活動後、担任から計画のどの部分に対応しているかの説明が適宜あり、わかりやすかった。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21				・同じ目標について、別々の設定療育からアプローチする工夫が見られた。回数を重ねるごとに、難易度が少しずつ上っており、スモールステップでクリアできていったのもよかった。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	5	5	・忙しいとは思いますが、通っている幼稚園へのフィードバックが途中途中であると、幼稚園側でも療育の内容がわかってよかったと思う。 ・親子通園での発達支援という特性上、他の事業所等の交流は段階としてはまだ早いように感じる。	・家庭保育の子に対しては、個別に施設の見学や交流を行っています。 ・交流保育の目的を職員間でしっかりもち、地域交流を検討していきます。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20			1	・療育内容が、どの項目に対するものなのか、担任が声をかけてくれるので、意識しながら活動できたのがよかった。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1		3	・ペアレントをする日になかなか参加できていない為、参加できていない方用にも日程調整して欲しいです。	・親勉強会やペアレントタイムはセンターたよりでお知らせしている。引き続き、保護者向けの研修について口頭や掲示で知らせていくとともに、実施日について検討していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	20		1		・こどもの特性について、理解しようとする担任の意欲がとても高いため、早くからその特性をとらえたうえで対応してくたのが嬉しかった。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20		1		・親子教室に参加する日数が少ない為相談するという考えに至っていないです。 ・活動のフィードバックなど、保護者としては大変ありがたいが、職員の負担になっていないか心配。 ・その時の子どもへの行動疑問等について丁寧に答えてくれる。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20			1	・親子教室参加日数が少ないのでまだわかりません。 ・担任以外にも、センター総出で応援してもらっている感じを受けた。対象児に関する情報共有に、どれだけ時間を割いてくれるのだろうかと感じ、職員の負担になっていないか心配。 ・いつも相談にのってもらったり、体調など気を使ってもらっています	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	2		4	・普段の活動にも参加している回数が少ないので、さらに父母の会などに参加できないのでわかりません。 ・特に保護者会等の開催を促している印象はないが、活動を通してそれぞれの保護者が情報を交換したりするようになり、限定的かもしれないが連絡先を交換し、個々で連絡するようになっている。もし事業所側からそういったことを体制として作ってしまうと強制感が出てしまうため今の環境が私には好ましく感じます。	・保護者同士の交流会については、ペアレントタイム等で設けています。 ・きょうだい児や家族交流については、夏祭りや親子ふれあいフェス等で機会を設けています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20			1	・移行支援の一つとして、小学校への情報提供も可能であると教えてもらえた。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21				・担任には、とても時間と手間をかけて、こちらの情報を引き出してもらったり、スケジュール等の共有をしてもらったと思う。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	2	1	8	・さらなる努力をかけて、不特定多数に発信する必要性は低いと思うので、園内に掲示する程度でよいと考える。必要があり来園した方へ情報が行き届けばよいのでは。 ・通園した際には帰宅前に、通園しない際には電話で伝えていただいてます。もし、WEBのようなものがあり、そこで確認が取ればより利便性は上がるように感じます。	・沖縄市のHP等を活用して、活動内容等わかりやすい工夫しながら発信していきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21				・本人の了解を得ていないところで、他の利用者を特定できることはなかった。自分の子も、同様に配慮されていると思う。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1		2		・避難訓練を年間計画にそって月に1回実施し、実施日については掲示にて知らせています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			1	・避難訓練の実施日が毎回更新されているのを確認した。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21				・計画等の周知は、必ずしも要るものではないと感じる。毎回の活動においては、安全性が十分に確保されていると感じた。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	2		6		・重要事項説明書時に、療育活動中に事故等が発生した場合の対応について説明しています。親子通園であることから一緒に対応していく流れとなります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21				・保育園以上に楽しみにしてくれてる。やっぱりこうして関わる場所や時間が大切だと気付かされる。 ・担当が固定であることがよかった。これまでの通所より、信頼関係が生まれ、本来の姿を発揮できた。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21				・毎回、次回の活動内容についても知らされ、楽しみになるような工夫がされていた。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				・苦手な遊びを工夫してくれて遊べるようになったり、全力で遊びもしてくれる。先生もみんな優しく子供が大好きな場所。 子供だけでなく親に対しても、親身に話聞いてくれたり、アドバイスしてくれたり、よりそってくれたり居やすい場所。 本当に感謝しています。ありがとうございました。 ・個別療育に通うことができて、本当によかった。これだけ成果を残せるので、もっと門戸が広がるといいなと思う。	